

# きあらひらかわ

## 第4次平川市男女共同参画推進プランを策定しました(令和4年3月)



### 第4次 平川市 男女共同参画推進プラン

～互いに認め、支えあう、だれもがきらめく平川市～



#### 表紙のデザインについて

6色(赤・オレンジ・黄・緑・青・紫)の  
レインボーカラーの丸をデザインし、  
「多様性」と「やさしさ」を表現しました。

平川市では、だれもが互いに尊重しあい、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現を目指して、様々な取り組みを行ってきました。

令和3年度末で「第3次平川市男女共同参画推進プラン」の計画期間が終了することから、令和4年3月に、法律や国の計画、県のプランを踏まえつつ、平川市の男女共同参画社会の実現を図るための今後の取り組みを示した「第4次平川市男女共同参画推進プラン」を策定しました。

このプランは、  
令和4年度から令和8年度まで  
の5年間の計画です。ただし、社会状況などに応じて必要な見直し  
を行っています。



今回の「きあらひらかわ」では、プランの概要をお知らせします。

第4次プランの策定にあたり、貴重なご意見やご提案をいただいた平川市男女共同参画推進会議委員の皆さんをはじめ、ご協力くださいました皆様に感謝いたします。

### 基本理念：～互いに認め、支えあう、だれもがきらめく平川市～

この基本理念のもと、男女共同参画社会の実現に向けて、だれもがお互いの人権を尊重し、性別にとらわれることなく自分らしさを十分に生かしながら、一人ひとりが生活面や、精神的、経済的において自立し、いきいきと輝くことができる社会を目指します。

#### 「きあらひらかわ」について

「きあら(chiara)」はイタリア語で「光り輝くもの」「よろこびをもたらすもの」を意味します。輝く未来を見つめながら性別にかかわらず一人ひとりがお互いを認め、自分らしさを十分に生かせる平川市をめざしたいという願いを込めています。

# 第4次平川市男女共同参画推進プラン

## 基本理念：～互いに認め、支えあう、だれもがきらめく平川市～

次の3つの「基本目標」を掲げて、各種施策を計画的に推進します。

### 基本目標Ⅰ

#### だれもが活躍できる まちづくり

##### 1 政策・方針決定の場への女性の参画拡大

- (1) 各種審議会等への女性の登用拡大
- (2) 企業・各種団体等における女性の参画推進
- (3) 女性の人材育成と能力開発（エンパワーメント）の推進



##### 2 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

- (1) 子育て支援の充実
- (2) 仕事と子育てや介護を両立できる環境づくり
- (3) 男性の家庭生活への参画推進



##### 3 働く場における男女共同参画の推進

- (1) 男女の均等な機会と待遇の確保
- (2) 女性の活躍に関する取組や理解の促進



##### 4 農業及び商工業等自営業における男女共同参画の推進

- (1) 女性の経済的地位と能力の向上
- (2) 女性の労働に対する適正評価とあらゆる場における意識と行動の変革



### 基本目標Ⅱ

#### だれもが安全・安心に過ごせる まちづくり

##### 5 地域における男女共同参画の推進

- (1) 性別にかかわらず共同で取り組む地域活動の推進
- (2) 地域社会への参画のための学習環境の充実
- (3) 防災・災害時における男女共同参画の推進



##### 6 女性等に対するあらゆる暴力の根絶

- (1) 暴力・各種ハラスメントの防止に向けた取組の推進
- (2) 被害者相談体制の充実と関係機関との連携



##### 7 男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難を抱える人への支援と多様性を尊重する環境の整備

- (1) 貧困等生活上の困難を抱える女性等への支援
- (2) 高齢者、障がい者、外国人等が安心して過ごせる環境の整備



##### 8 生涯を通じた健康づくりの推進

- (1) 子どもからお年寄りまでの健康づくり
- (2) 女性のライフステージに応じた健康支援



### 基本目標Ⅲ

#### だれもが互いに支えあえる まちづくり

##### 9 男女共同参画の視点に立った慣行等の見直し、意識改革

- (1) 男女共同参画や人権尊重についての啓発・広報活動の推進と学習機会の提供
- (2) 男女共同参画に関する国際社会の動向の把握と情報発信

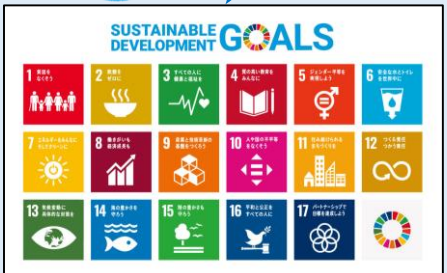


##### 10 教育等を通じた理解の促進

- (1) 男女共同参画について理解を深めるための教育・学習の充実
- (2) 多様な個性を認めあう、人権と性の尊重教育



本計画では、SDGsの理念を取り入れ、ジェンダー平等を推進するとともに、各重点項目がSDGsのどの目標に関連しているのかをアイコンを用いてわかりやすく示しています。



資料：国際連合広報センター

## 主な取組

基本目標ごとの主な取組はこちらです。

### 基本目標Ⅰ だれもが活躍できるまちづくり

**主な取組** 各種審議会等への女性登用拡大事業、日本女性会議等派遣事業、第2子以降保育料無料化、ワーク・ライフ・バランス推進事業、家族経営協定推進事業など

### 基本目標Ⅱ だれもが安全・安心に過ごせるまちづくり

**主な取組** 団体活動支援事業、DV被害者支援事業、ひとり親家庭等医療費助成事業、高齢者に関する総合相談業務、障がい理由とする差別の解消の推進、肺炎球菌ワクチン・子宮頸がんワクチン接種事業、産前産後支援事業など

### 基本目標Ⅲ だれもが互いに支えあえるまちづくり

**主な取組** 男女共同参画講演会、SNS等を利用した広報活動の推進、思春期教室、性教育の充実など

## 成果目標の設定

右表のような成果目標を設定しました。

令和8年度までに目標値に近づけるよう各種取組を推進していきます！



項目	現状値 令和3年度調査時	目標値 令和8年度
市審議会等委員に占める女性の割合	26.7% (R3年4月)	30.0%以上
就業規則に育児・介護休業等に関する規定がある企業の割合	87.5% (R3年6月)	100.0%
市内主要事業所における管理職に占める女性の割合	11.2% (R3年6月)	30.0%以上
家族経営協定締結農家戸数累計	50戸 (R2年度末)	60戸以上
町会役員に占める女性の割合	12.1% (R3年6月)	30.0%以上
特定保健指導実施率	53.9% (R2年度)	60.0%以上
妊婦健康診査受診率	89.7% (R2年度)	100.0%

## 計画の推進

### 1. 推進体制の整備と進捗状況の検証

庁内、市民の参画による推進体制を整備します。また、毎年計画の進捗状況を検証し、平川市男女共同参画推進会議にて報告・審議します。

### 2. 関係機関・団体との連携強化

男女共同参画を推進するため、国や県をはじめ関係機関・団体との連携を図りながら、計画を推進していきます。

### 3. 男女共同参画に関するデータの収集と整備

男女共同参画の現状や課題を把握するために、関連するデータの収集、整備に努めます。

「第4次平川市男女共同参画推進プラン」は、市のホームページに掲載しています。

プランの詳細をご覧になりたい方は、「平川市 男女共同参画」で検索してみてください！

## ～若者の声・市民の意識～

男女共同参画についての、若者の声・市民の意識を皆さんにご紹介します。

### 尾上総合高校生徒による課題研究

尾上総合高校の生徒4名が「ジェンダーとは何か、それを理解した上でジェンダー不平等問題は解決できるのか」という課題について研究するため、平川市・弘前市・黒石市の男女共同参画担当部署を訪問し、質問を行いました。

生徒たちの研究成果の中から、「研究のまとめ」を皆さんにご紹介します。

#### 【研究のまとめ】

私たちは幼い頃から、ジェンダーという言葉が身近にない、理解や知ることができない環境にあり心や身体、性別についての勉強や教育、自分がどう考えるかなどの時間が与えられていないと思う。そのため、自分と違うと思い、知ろうとしないことがある。だからこそ、小さい頃からそのことを勉強や周りの大人から教えてもらい、相手を知り、互いを尊重、思いやる行動や言葉の重要性を学ぶべきだ。

### 平川市内の高校へ通う生徒へのインタビュー

男女共同参画についての若者の声を聞くため、平川市内の高校へ通う生徒4名にインタビューを行いました。

【問】男女共同参画について、質問・疑問・あなたの考えなどをお聞かせください。

#### 【回答】

- ・私はスカートよりズボンを履くことが好きだが、女子は制服がスカートと決められていることに疑問を感じる。
- ・私は将来調理師を目指している。女性の調理師は沢山いると思うが、まだまだ男性が優位な職場だと聞いたことがある。私は調理師となって責任ある立場で活躍したいと思っている。ぜひそれが叶う社会になってほしい。
- ・男女共同参画について今まで学校の授業で教えてもらえる機会があまりなかったためよく理解していない。学ぶ場が少ないと感じる。
- ・私の家では家事は私や母が行い、父は全くやらない。母も私も仕事や学校があるのに女性が行うのが当たり前なのはおかしいと思う。
- ・私の家では父と弟が家事や年の離れた弟の世話を積極的に行っている。そのため家の中では男女の不平等を感じたことがない。
- ・学校生活や進路選択においてジェンダー差別をあまり感じたことがない。



### R3 市民意識調査結果(平川市)

男女平等や男女共同参画社会の実現などに関する市民の考えや意見を聞くため、市内在住の満18歳～80歳までの男女2,000人を対象に市民意識調査を行いました。有効回収数は607、回収率は30.4%でした。

【問】 次のア～クの分野で男女が平等になっていると思いますか	平等と答えた人の割合
ア 家庭生活では	34.09%
イ 職場では	30.46%
ウ 学校教育の場では	39.37%
エ 政治の場では	8.03%
オ 法律や制度の上では	23.39%
カ 社会通念・慣習・しきたり	12.39%
キ 自治会やNPO、ボランティアなどの地域活動の場では	31.94%
ク 社会全体では	12.70%

「平等」と答えた人の割合が最も多いのは、「ウ. 学校教育の場」で39.37%、次いで「ア. 家庭生活」で34.09%でした。

しかし、ほとんどの分野で、「男性優位」と「やや男性優位」を合わせた割合が多い結果となりました。

※結果の詳細については、「第4次平川市男女共同参画推進プラン」をご覧ください。

市民意識調査の結果では、「平等」と答えた人の割合が最も多いのは、「学校教育の場」でした。高校生の研究のまとめ、インタビューの回答では、男女共同参画について学ぶ機会が少なく、理解できる環境が身近にないと感じていることがわかります。また、学校生活や進路選択においてはジェンダー差別をあまり感じていないようで、市民意識調査と同様の結果でした。

男女共同参画社会を実現するためには、幼い頃からの教育が必要不可欠です。そのためには学校教育だけではなく、周りの大人が男女共同参画についての正しい知識を持ち、若い世代に伝えていくことが大切です。一人ひとりが男女共同参画について理解を深め、意識を高めていくことができれば、「だれもがきらめく平川市」に近づくのではないのでしょうか。

【発行元】 平川市教育委員会生涯学習課  
〒036-0102 平川市光城二丁目30-1（平川市文化センター）  
TEL:0172-44-1221 E-mail:shougaigakushuu@city.hirakawa.lg.jp

